

### スペインでの国際学会発表を終えて・・・

副院長 前田篤宏

6月21日から1週間、飛行機を乗り継ぎ 15 時間かけてスペインのバルンシアに学会発表で行って来ました。バルンシアはパエリアの発祥地として有名な街で、マドリッド・バルセロナに次ぐスペイン第3の都市です。日本で言うなら福岡のような都市で、山があって、海があって、都会的な場所もあってと、住むには最高の街とされています。

今回の国際学会は英語での発表で聴衆は皆さん外国人でした。というか、彼等から見たら、しゃべっている私だけが外国人でした(笑)。演題名は『*Dialysis time is the more important factor of EPO response, rather than Kt/V in HD patients with diabetes*』で、内容は『6時間透析では貧血が自然と改善し、エリスロポエチンという薬の投与量が減らせる』というものです。日本はもとより海外でも透析時間は4時間が主流のようで、当院の6時間透析の成績には大変興味があるようでした。発表の後は、スペイン・ブラジル・アメリカの先生達から英語で質問を受け、何とかつたない英語で返答をしました。それらの先生とは今でもメールでやりとりを続けていますが、英語なので正直めんどくさくて返信をさぼりがちです(笑)

当院の6時間透析も25年の歴史を迎え、4 時間透析に比べて

- ・2倍長生きできる
- ・心臓や脳に負担が少なく、心筋梗塞や脳梗塞になりにくい
- ・血圧の薬が 1/3 くらいに減らせる
- ・エリスロポエチンという貧血の薬が 1/2 くらいに減らせる
- ・かゆみやショックなどの出現が非常に少ない

というような事が明らかになってきました。

そして、透析患者さんの余命の長さに関しては日本一の成績です。日本の透析の成績は世界一ですので、つまり当院の成績は世界一という事になります。25年も昔に誰も見向きもしなかった6時間透析を開始し現在まで続けてきた院長先生の理念と情熱、痛い針刺しや大変な食事療法や週3回の通院を頑張っておられた患者の皆様、機械や透析液の準備や後片づけ等で朝早くから夜遅くまで頑張っておられるスタッフの皆さん、本当にありがとうございます。

皆さんの誰一人が欠けたとしてもこの世界一の成績は達成できなかったと思います。

世界一の患者さん、スタッフ、父に恵まれて私は本当に幸せとっております。この場をお借りして感謝の意を表したいと思っております。皆さん、本当にありがとうございます!!

私は今、腎臓の病気を透析が必要になってしまう前に何とか治したいと日々格闘しております。しかし一方で、万が一透析が必要になってしまったとしても、安心して最高の透析医療が受けられる前田病院であり続けたいと考えています。皆さんの助けをお借りしながら一歩ずつ進んでいきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いたします!!

最後になりますが、海外発表の 1 週間に私の代わりを務めて下さった大山先生、院長先生、スタッフの皆さん、家族のみんな、ありがとうございました!!



医療法人 幸善会  
前田病院

〒848-0027

佐賀県伊万里市立花町 2742 番地 1

TEL 0955(23)5101 FAX 0955(23)3315

TEL 0955(23)8835 (腎センター直通)

URL <http://www.maeda-imari.or.jp>



# いろいろな行事やっています

当院では介護療養病棟や健康増進センターを中心に季節の催し物や健康作りのお手伝いを積極的に行っております。機会があればぜひ覗いてみてください。

## 出前講座



## 夏祭り



## ロビー音楽会



## 祝敬老会





皆さんこんにちは

すっかり秋らしくなってきました。梨・柿などの果物が多く出回ってきています。果物を食べる時にカロリーを意識していますか？糖尿病の方の場合は一日の果物からの摂取推奨カロリーは80Kcalとなっています。80Kcalとなると代表的な果物でいうと、リンゴであれば半分、ミカン2個、バナナ1本となります。柿も半分となります。梨は品種によって大きさが様々ですが、200gで80Kcalとなります。すぐに判断できないときは、食べたいと思う量の半分にされるといいと思います。また果物を食べる時間も注意してみてください。夕食後やお風呂上りに果物を食べる習慣がある方も多いと思います。しかし、その時間に果物を食べると消費する時間がないまま血糖値が高い状態で就寝に入ってしまいます。果物は間食のイメージがあまり無く、夕食後に食べることに抵抗が無い方の方が多いと思います。しかしカロリー的には十分お菓子などに匹敵するカロリーです。80Kcalを運動で消費するとなると30分程度のウォーキングは必要になります。また果物に含まれる果糖は吸収が早く急激に血糖値を上昇させます。糖尿病の場合、急激な血糖値上昇に対してインスリン分泌が対応出来ず、食後の高血糖持続の原因となります。

糖尿病治療の場合は合併症が無ければ食事療法に関しては「何を食べたらダメか」ではなく「何をどれくらい、いつ食べるか」を意識することの方が大切です。数字ばかりにとられるのも勿論良くありませんが、普段ついつい食べてしまいがちな果物などは少しカロリーを気にして過ごしてみましよう。

## 健康増進センターのご紹介

健康増進センターは、介護保険対象の「デイケア」と医療法42条運動施設の「疾病予防施設」との2本立てで運営しています。当院の玄関から入られると真正面に位置し、そこにはガラス張りの開放的な空間があり、介護保険対象の方から一般の方まで幅広い年齢層の方が利用されています。

### ○デイケア

通常のデイケア(リハ・食事・入浴・レク)とは違い、運動に特化し、6種類のマシンを使ったパワーリハを中心に運動を行い、さらに要介護以上の方には理学療法士が個別のリハビリを行いますので、より実生活に活かせるものになっています(要支援の方でも必要があれば個別で運動を行う場合があります)。

### ○疾病予防施設

医療法人が運営する疾病予防運動施設ですので、安心、安全な運動で生活習慣病などの疾病予防、改善をはかります。体力に自信のない方、足腰の弱い方でも、まずは「動く」ことを楽しむことから始めていきます。また、入会時に医師によるメディカルチェック(血液検査・心電図・尿検査)も行いますので、健康に不安のあるかたも安心して利用できます。



診療受付時間 平日 9:00~12:00 / 14:00~17:30 (内科 15:00~)

\* 受付 17:00 まで

土曜日 9:00~12:00 (土曜午後、日曜、祝日休診)

## 外来診療担当医師

診療科目	月	火	水	木	金	土(午前)
腎臓内科	前田利朗	前田利朗 前田篤宏 大山奈々	前田利朗 前田篤宏 大山奈々 池田裕次(午前)	前田利朗 前田篤宏 大山奈々	前田篤宏 大山奈々 九州大学医師 (第2・3週午前)	前田篤宏 九州大学医師 (第1・2・4週)
血液内科	松崎美和子 北村浩晃 (14:00~)	松崎美和子	松崎美和子		松崎美和子 久保田 寧	松崎美和子
呼吸器内科	前田智美 (15:00~)	前田智美 (15:00~)	前田智美 (15:00~) * 予約制	前田智美 (15:00~)	前田智美 (15:00~)	坂本篤彦 (月2回)
漢方内科			栗山一道 (15:00~)	栗山一道 (午前)		
一般内科	前田拓郎	前田拓郎	前田拓郎	前田拓郎		
糖尿病内科	前田麻木 松田やよい (午前)	前田麻木		前田麻木	前田麻木	前田麻木
摂食・嚥下 リハビリ						本多知行 (月2回)
消化器内科	菊地宏樹	菊地宏樹	菊地宏樹	太田敦子	菊地宏樹	菊地宏樹
内視鏡	菊地宏樹	菊地宏樹 藤原昌子(午前)	菊地宏樹 福大筑紫 HP 医師	菊池陽介 (第3週)	菊地宏樹	菊地宏樹
整形外科	副島整形外科より(午前)					副島整形より (隔週) * 予約制
	※副島整形外科医師の予定は、外来ロビーに設置の「外来診療予定表」をご覧ください。(*一部予約制)					

\* 上記担当医師は、都合により診療時間等の変更が生じる場合がございます。

\* 担当医に関するお問い合わせは、0955-23-5101 までお願いいたします。

## 編集後記

日本人男性の平均寿命が初めて80歳を超え、日本人の4人に1人が65歳以上という長寿社会を迎えました。福岡藩の学者、貝原益軒(没後300年)はこう綴っています。「老後は、わかき時より月日の早き事十ばいなれば、一日を十日とし、十日を一月とし、一月を一年とし、喜樂してあだに日をくらすべからず」それから人生の三樂として「一つはいい行いをして自尊心を高める。二つは健康で心配事がないこと。三つ目は長生きして人生を充分に楽しむことである」(養正訓) 本当にそうだな〜と実感する毎日です。今日は喜ぶ事があつたらうか、楽しいと感じる事があつたらうか…。人生は早く過ぎていく事を思えば、今を大切に、一日一日を過ごして行きたいものです。

中村

